



進路だより

札幌市立宮の森中学校

令和7（2025）年度

第43号

2月27日（金）

進路係発行

保護者のみなさん、生徒のみなさん、共にお読みください

私立入試を終えて…みんなの感想から

・とても広々とした空間だった。 ・少し重たい空気だったけど、くつろげるような場所があった。 ・無言の人が多くて息がつまりそうだった。 ・人数がめっちゃ多かった。 ・A日程でいた人と同じ人がB日程でもいた。 ・時計を忘れて笑えなかった。 ・理科の難易度が大幅に上がっていた。辛酸をなめる思いだった。 ・社会は日本語で攻められた。（批准している条約～を選べ、など） ・監督の先生が怖かった。 ・校舎がきれいだった。 ・私立は問題のレベルが高かった。 ・大学での受験だったので、1つの部屋に大勢の人がいた。 ・通勤ラッシュで混んでいた。 ・緊張していたが、深呼吸をして落ち着いた。 ・隣の人のペンの音とか、ページをめくる音が気になってしまった。 ・コンベンションセンターの天井が高くて、広くて、人が600人近くいて、すごくソワソワした。 ・やっぱりピリピリしていた。 ・私立特有の難しい問題で少しパニックだった。 ・札大は遠かった。座るところが狭かった。 ・難問ばかりで、とても楽しかった。 ・先生方が受験生に配慮してくれて優しくかった。 ・他校生が少しうるさかった。 ・帰りがとても混んでいた。 ・しっかり朝ご飯を食べないと腹が鳴る。 ・トイレがとても混んでいた。 ・同じ目標に向かって仲間だと思えると気が引き締まった。 ・土足O.K.だった。 ・監督の先生に答案を5回はのぞかれた。 ・ボーッとして電車を乗り逃してしまった。 ・長机で、同じ机の隣の人が終始うるさかった。 ・帰りの渋滞を避けるために迂回した。 ・宮中生が固まっていたので、安心して受けることができた。 ・イスの座り心地がとても良かった。

「それ私も思った」「自分もそうだった」なんて感想もたくさんあるのではないのでしょうか。みんな同じ中学生です。思いは同じです。そう考えると、少しだけ安心できますよね。今回の反省や感想に書かれたみんなの思いが、公立入試にも活かされるといいなと思います。

公立高校入試まであと5日となりました。入試に向けて、しっかりと体調管理、感染症対策をしてください。もしも入試の時に発熱等あった場合は、必ず中学校に連絡をしてください。受検ができないほどの症状がある場合は、「追検査」を受検することもできます。「追検査」を受検を希望する場合は特別な手続きが必要になりますので、必ず中学校に申し出てください。

私立高校の合格発表が始まっています。合格通知の郵便物の中に、入学手続きについての案内が同封されているかと思いますが、その中の入学手続き金の入金についての留意事項です。

一度入金されたお金は、返金されない私立高校もあります。返金されたとしても全額ではなかったり、「追加合格後まで2次募集後は返金不可」など、高校ごとにいろいろな対応があります（詳細は募集要項等で確認してください）。したがって、公立高校が第一志望の人は、手続きの時期に注意が必要です。公立高校の合格発表は3月17日、追加合格発表は3月18日です。私立高校は3月18日～21日が入金等の手続きの締切日になっています（締切日は学校ごとに異なります）。「入金をギリギリまで待とうとして、結局手続きに間に合わなくなってしまった」ということのないように十分に留意してください。

「さ、ひっくり返そう。」

大逆転は、起こりうる。
わたしは、その言葉を信じない。
どうせ奇跡なんて起こらない。
それでも人々は無責任に言うだろう。
小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。
誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。
今こそ自分を貫くときだ。
しかし、そんな考え方は馬鹿げている。
勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。
わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。
土俵際、もはや絶体絶命。

以前にあるCMで使われていた文章です。上から読むとネガティブな文章ですが、下から読むと…